2023年7月23日礼拝説教要約

ローマ人への手紙に聴く⑬

「恵みによる支配」

（ローマ5・12～21）

一、「罪」とは何か？

キリスト教会が用いることばの特徴の一つに、「罪」があります。ローマ人への手紙が書かれた1世紀の時代、ユダヤ人たちは「罪」を、キリスト教会とは異なる意味で捉えていました。

パリサイ派のユダヤ人だったパウロは、**「私は、律法による義については非難されるところがない者でした」**と確信し、公言していました。ところが、「私は罪人のかしらです」と知り、公言するようになりました。主イエス・キリストに出会ったからです。パウロが受け止めるようになった「罪」とは、何なのでしょうか。それは、律法を持っているユダヤ人であろうが、異教徒であろうが、すべての人が持っている、本来のあるべき姿から外れている状態の「罪」であって、キリスト教会は「原罪」と呼んでいます。なぜすべての人に「原罪」があり、逃れられないのでしょうか。「原罪」は、神によって創造されたひとりの人（アダム）によって入って来ました。そのことが創世記に書かれています。神話ではなく、神からの啓示です。神が覆いを取ってくださったことによって明らかにされたことです。その覆いを取り除けてくださったのは、主イエス・キリストであり、聖霊です。

二、罪と死による支配

使徒パウロは語りました。12節です。**〈こういうわけで、ちょうど一人の人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして、すべての人が罪を犯したので、死がすべての人に広がったのと同様に――〉**と。続く13節で、こう語っています。**〈実に、律法が与えられる以前にも、罪は世にあったのですが、律法がなければ罪は罪として認められないのです。〉**と。**〈実に〉**と訳されている元のことばは、パウロが頻繁に使う「なぜなら」を意味する接続詞です。すなわち13節は、12節で語ったことを説明するために語ったことばです。**〈律法が与えられる以前にも、罪は世にあったのですが〉**とは、キリストに出会って、「すべての人は罪を犯している。私はその罪人のかしらだ」と知ったからこそ、言えることばです。さらに、**〈律法がなければ罪は罪として認められないのです〉**と、律法の意義も語っています。ではなぜ、アダム以来、「罪」が人々を支配したと分かるのでしょうか。人が死ぬからです。これについては、聖書の舞台となった地域の人々が、人が死ぬのは罪のためであると考えていたと理解する必要があります。創世記3章22節に**〈神である主はこう言われた。「見よ。人はわれわれのうちのひとりのようになり、善悪を知るようになった。今、人がその手を伸ばして、いのちの木からも取って食べ、永遠に生きることがないようにしよう。」〉**とあります。アダムによって罪が入って来たので、人は死ぬようになったと受け止めれば、14節も理解しやすくなります。**〈けれども死は、アダムからモーセまでの間も、アダムの違反と同じようには罪を犯さなかった人々さえも、支配しました。アダムは来たるべき方のひな型です。〉**と。ですが「死」には、もう一つの意味があります。それは、神の前に霊が死んでいることです。すなわち、神と交流ができなくなっている状態です。私共にとっては、こちらの方が重大です。そういうわけで14節は、アダム以来すべての人が「原罪」のゆえに神の前に死んでいると受けとめたらよろしいです。

三、恵みの賜物による支配

ところが、神は善き御計画を実現させてくださいました。それは神の恵みによる御支配です。15節をご覧ください。**〈しかし、恵みの賜物は違反の場合と違います。もし一人の違反によって多くの人が死んだのなら、神の恵みと、一人の人イエス・キリストの恵みによる賜物は、なおいっそう、多くの人に満ちあふれるのです。〉**とあります。**〈恵み〉**とは、神が主イエス・キリストによって、私共人類にくださった賜物です。

私共はみな、どうしようもないくらいに、「罪」と「死」に支配されています。しかし神は、イエス・キリストによって、「罪」の問題、「死」の問題を解決して余りあるほどの賜物をくださいました。それは、神が人となられた主イエス・キリストによる贖いによって、実現されました。「罪」と「死」に支配されていた私たちが「罪」と「死」から解放され、私共に神の恵みに支配される道が備えられました。主イエス・キリストを信じるなら、再び「罪」と「死」の奴隷になることはありません。なぜなら、救いは神の賜物だからです。

17節をご覧ください。**〈もし一人の違反により、一人によって死が支配するようになったのなら、なおさらのこと、恵みと義の賜物をあふれるばかり受けている人たちは、一人の人イエス・キリストにより、いのちにあって支配するようになるのです。〉**とあります。これは、主イエス・キリストを信じている人の姿です。その人は、自分の内側から湧き上がる思いによって、キリストの御心を行うようになります。なぜなら、新しいし原理（法則）の中に置かれるからです。キリストを信じる前のように、「罪」と「死」に支配されていた原理（法則）ではなく、恵みの原理（法則）に生かされるようになるからです。